

平成 25 年度一般廃棄物処理事業の概要

岩手県では、県内の市町村及び特別地方公共団体（33 市町村及び 18 一部事務組合等）に対して、「一般廃棄物処理事業実態調査（平成 25 年度実績）」を行いました。

この調査は、平成 25 年度一年間の実績又は、平成 25 年度末（平成 26 年 3 月 31 日）現在におけるごみ・し尿の排出処理状況、廃棄物処理事業経費・人員、一般廃棄物処理施設の整備状況等について取りまとめたものです。

ごみ

1 ごみの排出・処理状況

(1) 県内のごみ排出の状況

ア 平成 25 年度の県全体のごみ排出量（市町村や一部事務組合等のごみ処理施設に搬入された量の合計）は、**453 千トン**で、平成 24 年度比約 **2.4 千トンの減少**。

このごみ排出量は、東京ドームの約 **1.2 杯分**、岩手県庁舎を枳に例えると約 **18 杯分**に相当。
（東京ドームの容積 1,250 千m³、県庁容積 85 千m³、ごみの比重 0.3 t/m³として算出）

イ 県民一人 1 日当たりの排出量は **945 g**（1 年間では一人約 345kg のごみを排出。）で、前年度から **0.2%増加**。

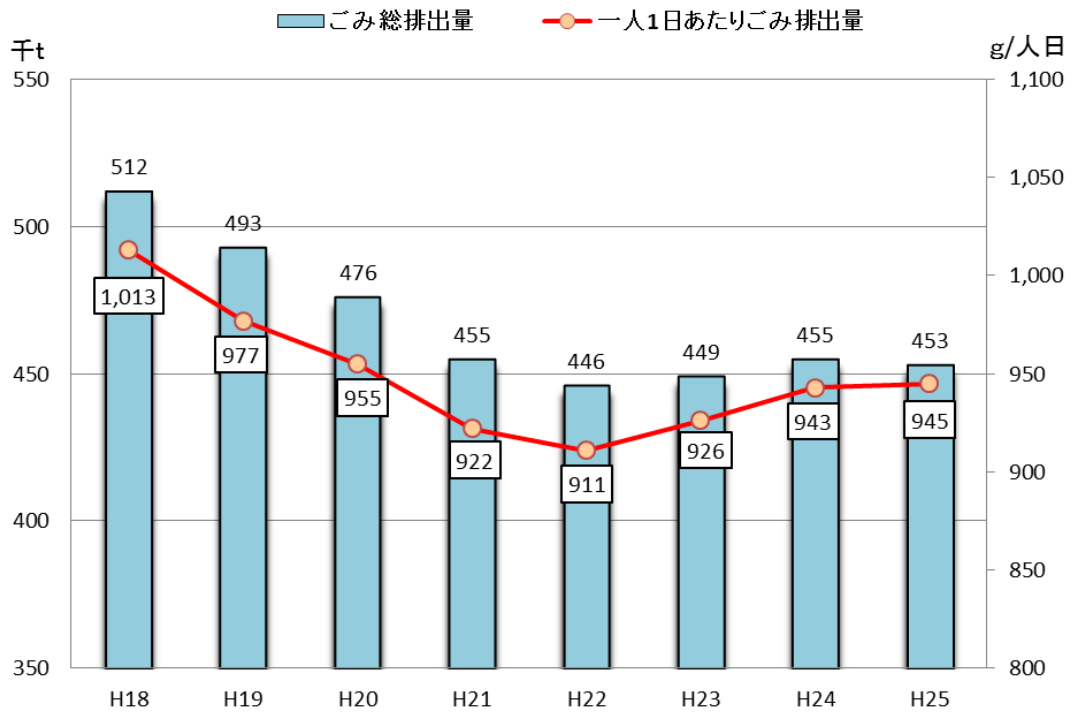
ウ 全体排出量 453 千トンのうち約 **309 千トン**が生活系ごみ、約 **143 千トン**が事業系ごみ。
全体排出量のうち、生活系ごみが 68%、事業系ごみが 32%。

エ 生活系ごみは、平成 18 年度以降平成 22 年度までは年々減少し、平成 23 年度に増加に転じたが、平成 24 年度、25 年度と 2 年続けて減少。県民一人 1 日当たり生活系ごみ排出量は **646 g**（1 年間で 1 人約 236kg を排出）で、前年度の 643 g から **3 g 増加**した。

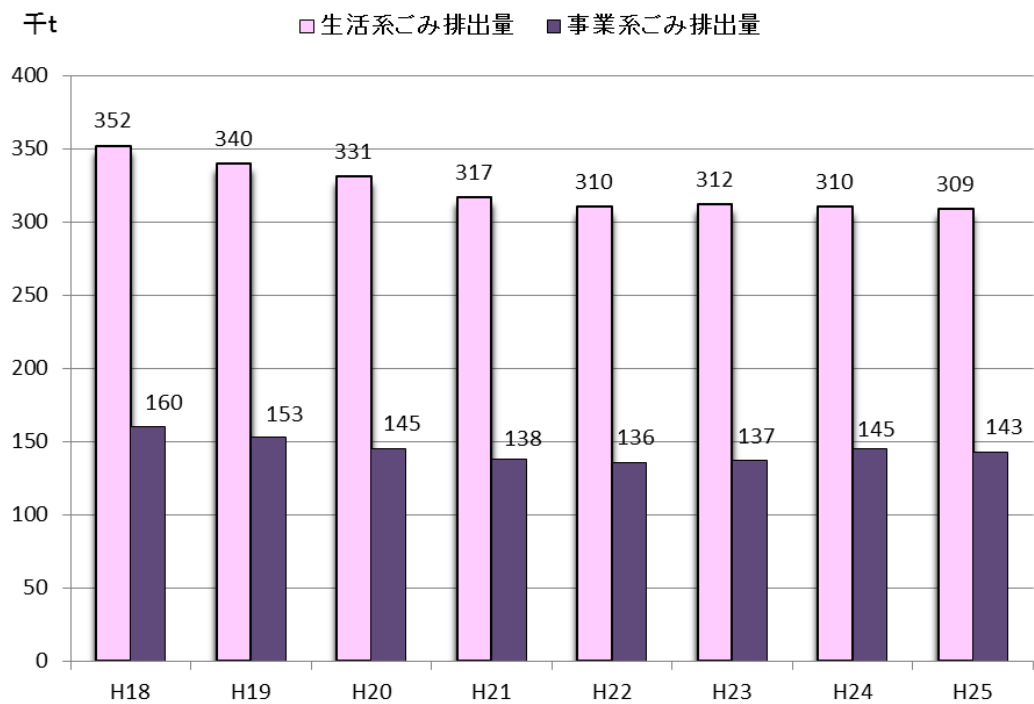
表－1 ごみ排出量の推移

項目	年度		H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	
総人口(人)	1,386,378	99.2	1,379,247	99.5	1,363,973	98.9	1,353,183	99.2	1,342,291	99.2	1,325,147	98.7	1,321,598	99.7	1,312,383	99.3			
ごみ排出量(t)	512,448	98.3	493,227	96.2	475,534	96.4	455,216	95.7	446,281	98.0	449,111	100.6	455,076	101.3	452,666	99.5			
うち生活系ごみ(t)	352,342	99.7	339,891	96.5	330,817	97.3	316,941	95.8	310,078	97.8	312,345	100.7	310,311	99.3	309,321	99.7			
うち事業系ごみ(t)	160,106	95.2	153,336	95.8	144,717	94.4	138,275	95.5	136,203	98.5	136,766	100.4	144,765	105.8	143,345	99.0			
一人1日ごみ排出量(g/人日)	1,013	99.0	977	96.5	955	97.7	922	96.5	911	98.8	926	101.6	943	101.8	945	100.2			
うち生活系ごみ(g/人日)	696	100.5	673	96.7	664	98.7	642	96.7	633	98.6	644	101.7	643	99.8	646	100.5			

※生活系ごみは家庭のごみを、事業系ごみは事業所のごみをいいます。



図－１ ごみ排出量と一人1日当たり排出量の推移



図－２ 生活系ごみと事業系ごみの排出量の推移

オ 各市町村の一人1日当たり排出量の推移は、図-3(1)~(3)のとおり。

※ 宮古市には旧川井村分を含み、一関市には旧藤沢町分を含みます。

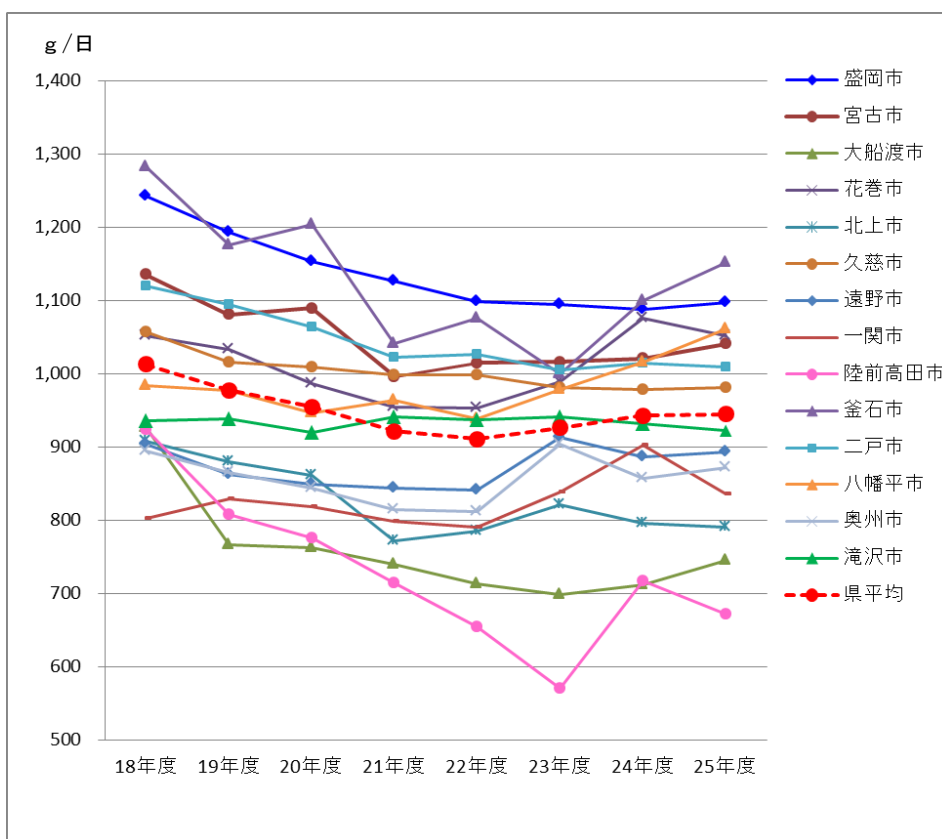


図-3(1) 市町村の一人1日当たり排出量の推移(市部)

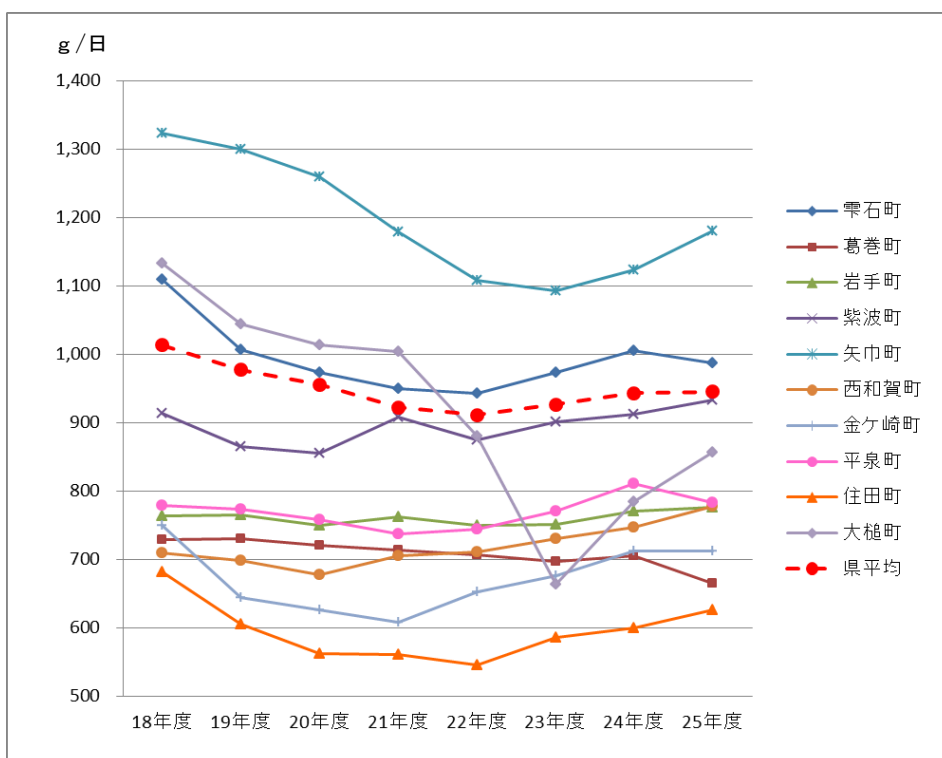
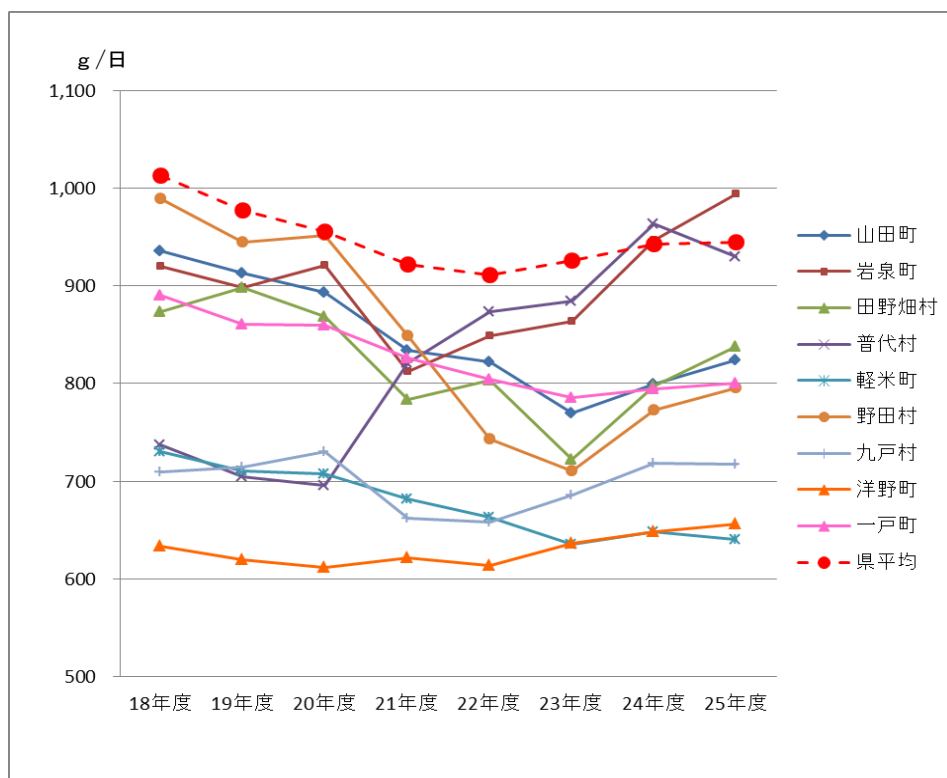


図-3(2) 市町村の一人1日当たり排出量の推移(町村部1)



図－3(3) 市町村の一人1日当たり排出量の推移(町村部2)

表－2 各市町村の一人1日当たり排出量(平成25年度)

(単位:g/人日)

市部			町村部					
市名	排出量	前年度比	町村名	排出量	前年度比	町村名	排出量	前年度比
盛岡市	1,097	0.9	雫石町	987	△ 1.8	軽米町	641	△ 1.2
宮古市	1,040	1.9	葛巻町	664	△ 5.7	野田村	795	2.9
大船渡市	745	4.7	岩手町	776	0.8	九戸村	718	△ 0.1
花巻市	1,051	△ 2.3	紫波町	932	2.3	洋野町	656	1.2
北上市	791	△ 0.6	矢巾町	1,181	5.1	一戸町	800	0.8
久慈市	981	0.3	西和賀町	777	4.1	県平均	945	0.2
遠野市	893	0.8	金ヶ崎町	712	0.0			
一関市	836	△ 7.4	平泉町	783	△ 3.4			
陸前高田市	672	△ 6.3	住田町	626	4.4			
釜石市	1,152	4.7	大槌町	856	9.2			
二戸市	1,009	△ 0.6	山田町	824	3.1			
八幡平市	1,061	4.5	岩泉町	994	5.0			
奥州市	872	1.8	田野畑村	838	5.1			
滝沢市	922	△ 1.0	普代村	930	△ 3.5			

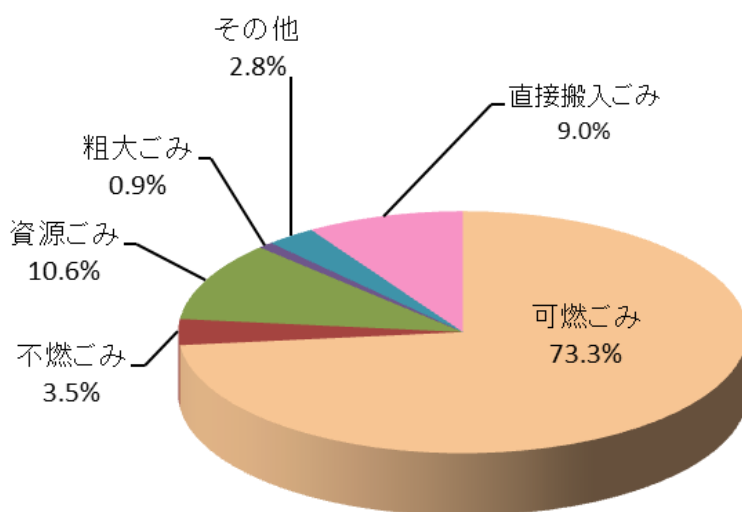
カ 平成25年度のごみの種別は、可燃ごみが最も多く、全体の73.3%を占める。可燃ごみ以外では、資源ごみが10.6%、不燃ごみと粗大ごみで4.4%となっている。

ごみの種別の割合はここ数年ほぼ同様の割合で推移している。

表－3 ごみの種別の推移

(単位：トン、%)

ごみの収集区分	H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
可燃ごみ	354,988	72.8	343,671	73.6	329,959	73.3	315,756	73.4	308,797	73.3	307,497	72.3	311,758	72.4	314,844	73.3
不燃ごみ	19,054	3.9	17,730	3.8	16,758	3.7	14,838	3.4	14,560	3.5	16,713	3.9	14,707	3.4	14,864	3.5
資源ごみ	51,538	10.6	50,160	10.7	47,321	10.5	47,090	10.9	46,310	11.0	48,098	11.3	46,963	10.9	45,673	10.6
粗大ごみ	3,992	0.8	3,503	0.7	3,282	0.7	3,181	0.7	3,212	0.8	3,464	0.8	3,536	0.8	3,674	0.9
その他	16,161	3.3	14,699	3.1	14,717	3.3	12,327	2.9	12,430	2.9	11,221	2.6	11,858	2.8	12,192	2.8
直接搬入ごみ	41,852	8.6	37,492	8.0	37,855	8.4	37,044	8.6	36,230	8.6	38,377	9.0	41,885	9.7	38,499	9.0
合計(t)	487,585	100.0	467,255	100.0	449,892	100.0	430,236	100.0	421,539	100.0	425,370	100.0	430,707	100.0	429,746	100.0



図－4 平成 25 年度のごみの排出割合

(2) ごみ処理の状況

ア 平成 25 年度の各市町村等におけるごみ処理の状況は、ごみ処理合計（直接最終処分量※1 + 直接焼却量※2 + 焼却以外の中間処理施設処理量※3 + 直接資源化量※4）429 千トンのうち、83.0% の 357 千トンが直接焼却、4.5% の 19 千トンが直接資源化（リサイクル）、0.5% の 1.9 千トンが直接最終処分。12.0% の 52 千トンは、焼却以外の選別、圧縮、破碎などを行う中間処理施設に搬入され、資源化の後、その残渣は焼却や埋立処分。

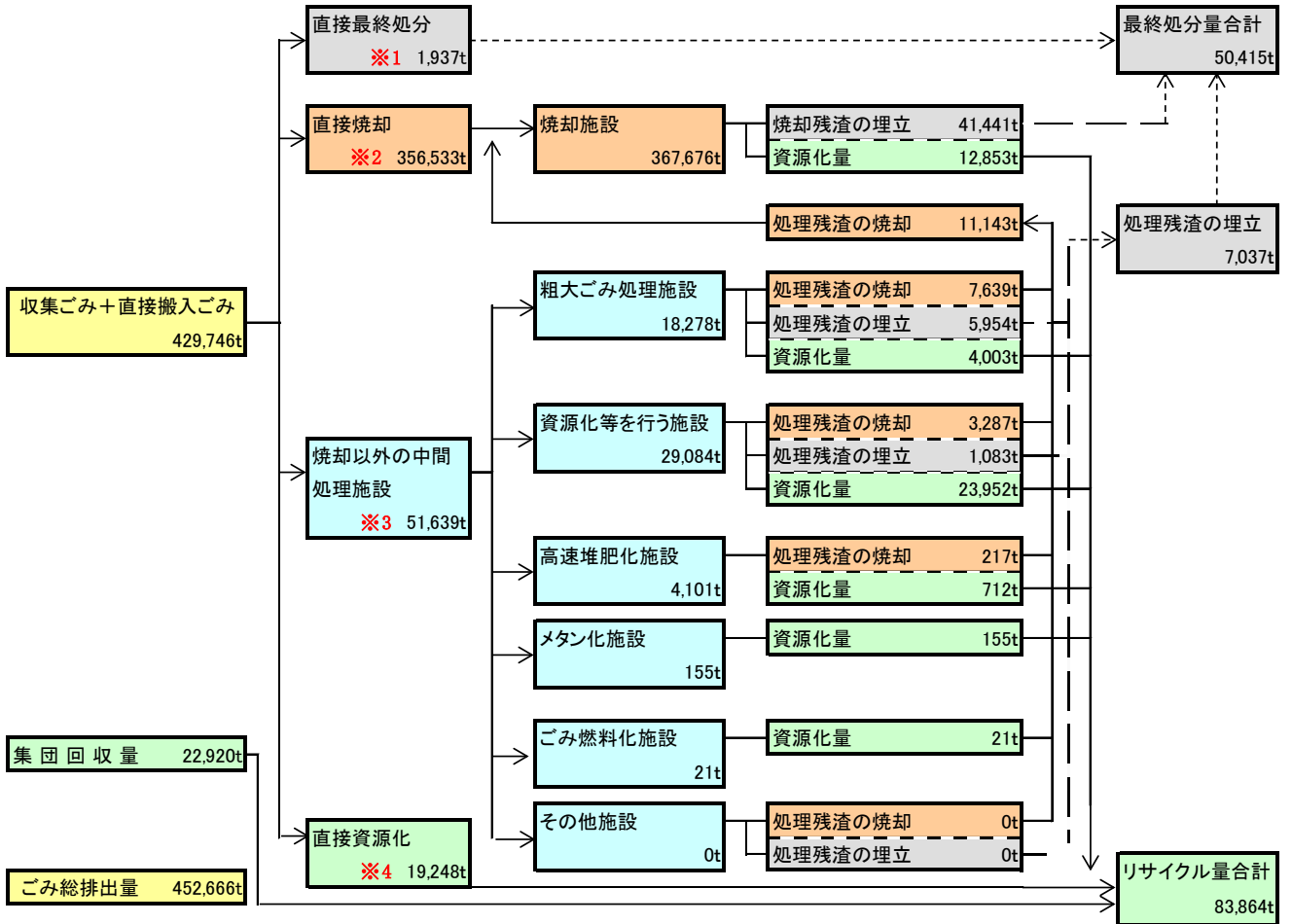


図-5 ごみの処理のフロー (単位: トン)

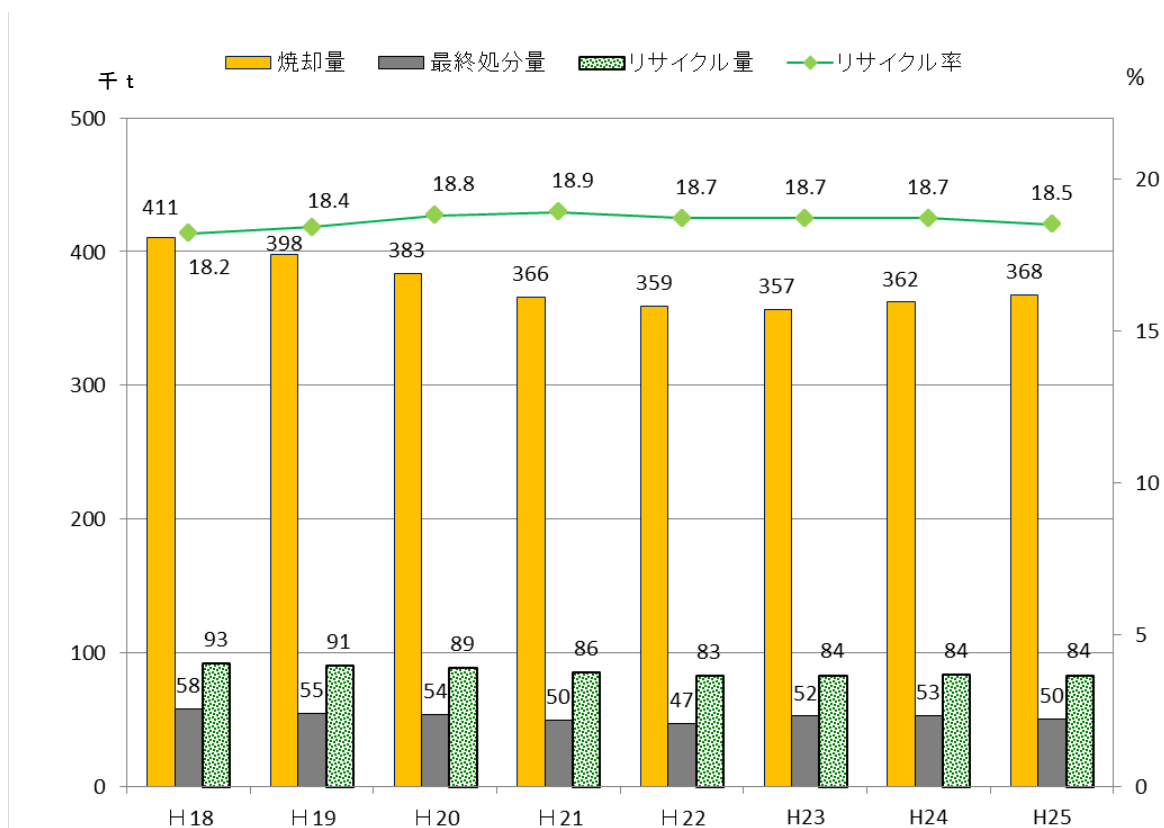
イ 焼却量は、368 千トン、最終処分量は 50 千トンで前年度から 4.3% 減少した。

なお、この埋立されたごみの量は、岩手県庁舎の約 0.7 杯分に相当（埋立ごみの比重 0.8 t/m³ として算出）。

焼却処理量（焼却施設資源化量を除く。）と最終処分量（焼却残さ埋立量を除く。）の合計量は、約 364 千トンで前年度から 0.7% の増加となっている。一人 1 日当たりの処理量は 759 g と前年度から 10 g 増加している。

表－４ ごみ処理の推移

	H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
総集人口(人)	1,386,378	99.2	1,379,247	99.5	1,363,973	98.9	1,353,183	99.2	1,342,291	99.2	1,325,147	98.7	1,321,598	99.7	1,312,383	99.3
世帯数	497,594	100.8	499,954	100.5	501,880	100.4	503,182	100.3	505,719	100.5	506,361	100.1	510,124	100.7	515,499	101.1
ごみ排出量(t)	512,448	98.3	493,227	96.2	475,534	96.4	455,216	95.7	446,281	98.0	449,111	100.6	455,076	101.3	452,666	99.5
一人1日ごみ排出量(g/人日)	1,013	99.1	977	96.4	955	97.7	922	96.5	911	98.8	926	101.6	943	101.8	945	100.2
焼却量計(t)	410,704	98.2	397,923	96.9	383,304	96.3	365,625	95.4	359,208	98.2	356,899	99.4	362,229	101.5	367,676	101.5
直接焼却(t)	385,265	98.2	385,832	100.1	372,590	96.6	355,408	95.4	348,799	98.1	345,684	99.1	352,389	101.9	356,533	101.2
中間処理施設残渣(t)	25,439	98.5	12,091	47.5	10,714	88.6	10,217	95.4	10,409	101.9	11,215	107.7	9,840	87.7	11,143	113.2
最終処分量計(t)	58,144	96.4	54,586	93.9	53,767	98.5	49,900	92.8	47,400	95.0	52,498	110.8	52,678	100.3	50,415	95.7
直接最終処分(t)	3,483	69.6	2,577	74.0	2,638	102.4	2,368	89.8	1,920	81.1	4,492	234.0	1,893	42.1	1,937	102.3
中間処理施設残渣(t)	10,065	89.2	8,865	88.1	8,989	101.4	8,156	90.7	7,172	87.9	9,072	126.5	7,773	85.7	7,037	90.5
焼却施設残渣(t)	44,596	101.2	43,144	96.7	42,140	97.7	39,376	93.4	38,308	97.3	38,934	101.6	43,012	110.5	41,441	96.3
直接資源化量+中間処理後再生利用量(t)	67,857	103.2	64,802	95.5	63,622	98.2	60,952	95.8	58,507	96.0	60,110	102.7	59,813	99.5	60,944	101.9
集団回収量(t)	24,863	96.6	25,972	104.5	25,642	98.7	24,980	97.4	24,742	99.0	23,741	96.0	24,369	102.6	22,920	94.1
資源化量計(t)	92,720	101.4	90,774	97.9	89,264	98.3	85,932	96.3	83,249	96.9	83,851	100.7	84,182	100.4	83,864	99.6
リサイクル率(%)	18.2	104.0	18.4	101.1	18.8	102.2	18.9	100.5	18.7	98.9	18.7	100.0	18.7	100.0	18.5	98.9
焼却処理・埋立処分量(t)	412,223	97.1	397,665	96.5	381,684	96.0	365,016	95.6	358,164	98.1	360,366	100.6	361,190	100.2	363,797	100.7
一人1日処理量(g/人日)	815	97.9	788	96.7	767	97.3	739	96.3	731	98.9	743	101.6	749	100.8	759	101.4



図－６ ごみの処理の推移

(3) リサイクルの状況

リサイクル量（市町村等において分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量及び集団回収量の合計）は84千トンで、前年度よりも0.4%減少し、リサイクル率は18.5%で前年度よりも0.2ポイント減少した。リサイクル率は、近年ほぼ横ばいで推移していたが、平成25年度はわずかに下降した。

リサイクル率と一人当たりの年間リサイクル量は、各市町村の間では大きな差がみられる。

表－5 各市町村のリサイクル率と一人当たり年間リサイクル量（平成25年度）

市 部			町 村 部					
市名	リサイクル率	1人当たりリサイクル量	町村名	リサイクル率	1人当たりリサイクル量	町村名	リサイクル率	1人当たりリサイクル量
盛岡市	17.1	68.3	雫石町	25.9	93.9	軽米町	18.1	42.6
宮古市	15.8	59.9	葛巻町	37.0	87.7	野田村	9.2	26.7
大船渡市	26.0	70.9	岩手町	15.8	44.7	九戸村	10.2	26.6
花巻市	14.6	56.0	紫波町	25.4	86.2	洋野町	11.4	27.4
北上市	21.4	61.7	矢巾町	23.4	100.5	一戸町	18.1	52.8
久慈市	10.5	37.7	西和賀町	16.0	45.4	県平均	18.5	63.9
遠野市	21.6	70.4	金ヶ崎町	18.3	47.5	(1人当たりリサイクル量 単位:kg/年) (リサイクル率 単位:%)		
一関市	15.6	47.7	平泉町	11.9	34.0			
陸前高田市	45.1	110.5	住田町	41.5	94.9			
釜石市	30.2	127.0	大槌町	38.0	118.8			
二戸市	13.1	48.1	山田町	14.8	44.4			
八幡平市	11.2	43.3	岩泉町	36.2	130.7			
奥州市	14.0	44.7	田野畑村	24.3	74.4			
滝沢市	26.2	88.3	普代村	9.9	33.5			

表－6 各市町村のリサイクル率の推移

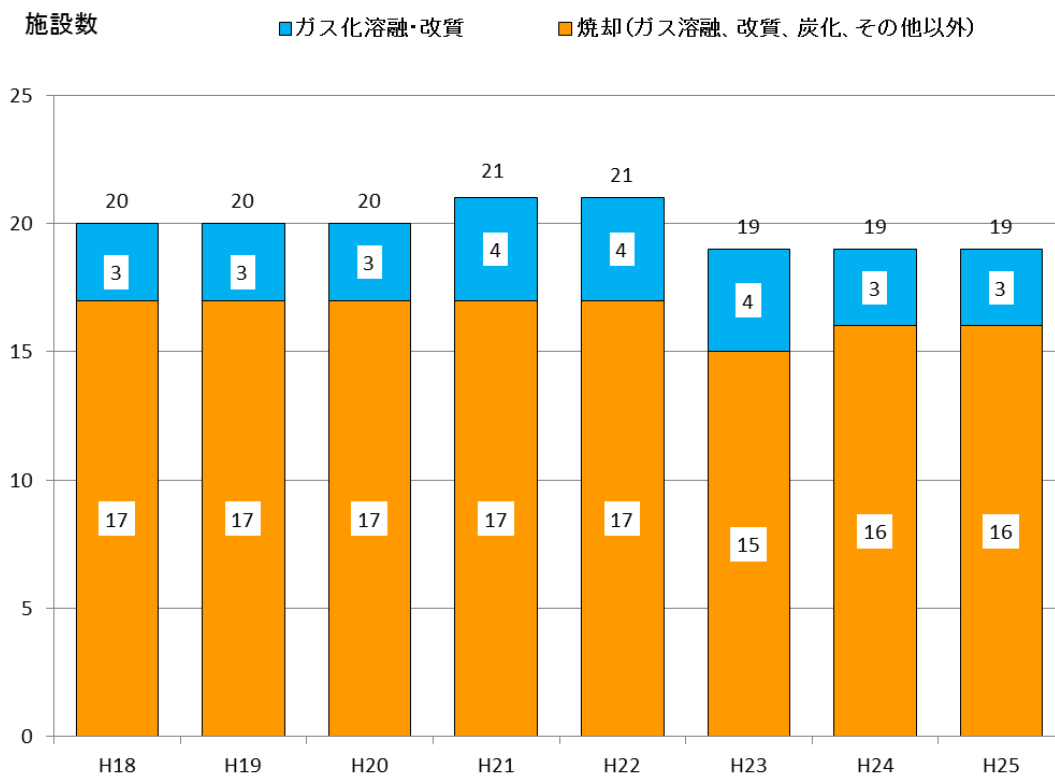
リサイクル率の水準	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
40%以上							住田町 42.6	陸前高田市 45.1 住田町 41.5
35～40%	滝沢市 39.2		滝沢市 36.1	岩泉町 36.3	岩泉町 36.5	岩泉町 36.0	岩泉町 37.1	大槌町 38.0 葛巻町 37.0 岩泉町 36.2
30～35%		住田町 30.4 滝沢市 30.3	住田町 31.1 雫石町 30.4	滝沢市 32.8 住田町 30.2	滝沢市 30.6	大槌町 34.2 住田町 30.3	大槌町 34.6	釜石市 30.2
25～30%	紫波町 28.6 住田町 28.5 葛巻町 28.2 岩泉町 28.0 釜石市 26.8	紫波町 28.9 雫石町 28.3 岩泉町 27.8 釜石市 27.5 大船渡市 27.4 大船渡市 25.1	葛巻町 27.3 釜石市 26.3 岩泉町 26.0 矢巾町 25.0	雫石町 29.6 田野畑村 27.8 葛巻町 27.6 紫波町 27.5 釜石市 26.0	住田町 29.5 紫波町 27.9 田野畑村 27.0 葛巻町 26.5 雫石町 26.3 大槌町 25.6 北上市 25.2	滝沢市 28.3 雫石町 26.7 紫波町 26.4 田野畑村 26.4 大船渡市 26.5 滝沢市 26.1 釜石市 25.3	葛巻町 29.4 陸前高田市 29.1 田野畑村 27.9 大船渡市 26.5 滝沢市 26.4 紫波町 26.4 釜石市 26.2	滝沢市 26.2 大船渡市 26.0 雫石町 25.9 紫波町 25.4
20～25%	金ヶ崎町 24.3 矢巾町 23.4 大船渡市 22.7 北上市 22.6 雫石町 20.1	矢巾町 23.2 北上市 22.8 田野畑村 21.5	北上市 23.5 大船渡市 23.2 陸前高田市 20.8 田野畑村 20.1	北上市 24.8 矢巾町 23.9 大船渡市 22.3 大槌町 21.1 陸前高田市 20.8	矢巾町 24.7 釜石市 24.0 大船渡市 20.2 金ヶ崎町 20.2	北上市 25.0 矢巾町 24.3 大船渡市 22.7 陸前高田市 20.8 金ヶ崎町 20.1	雫石町 24.3 矢巾町 24.0 北上市 22.9 遠野市 21.4	田野畑村 24.3 矢巾町 23.4 遠野市 21.6 北上市 21.4
15～20%	遠野市 19.4 平泉町 18.8 西和賀町 18.7 大槌町 18.3 県平均 18.2 陸前高田市 17.5 奥州市 17.2 花巻市 16.9 一戸町 16.7 軽米町 16.4 川井村 16.0 盛岡市 16.0 二戸市 15.8 岩手町 15.6 洋野町 15.5 八幡平市 15.3 田野畑村 15.0	陸前高田市 19.7 西和賀町 19.7 遠野市 19.2 大槌町 18.6 県平均 18.4 平泉町 17.6 金ヶ崎町 17.5 盛岡市 16.8 西和賀町 16.8 奥州市 16.7 花巻市 16.5 岩手町 16.4 一戸町 16.4 軽米町 15.2	大槌町 19.8 川井村 19.7 遠野市 18.9 県平均 18.8 藤沢町 18.4 金ヶ崎町 18.3 盛岡市 17.1 西和賀町 16.9 盛岡市 16.4 奥州市 16.1 岩手町 15.8 一関市 15.6 一戸町 15.2 平泉町 15.2	藤沢町 19.3 県平均 18.9 遠野市 18.2 山田町 18.2 西和賀町 17.5 遠野市 17.9 西和賀町 17.5 宮古市 17.5 山田町 17.5 奥州市 16.9 盛岡市 16.6 一戸町 16.5 花巻市 16.4 岩手町 16.1 陸前高田市 15.7 二戸市 15.2 岩手町 15.0	藤沢町 19.7 県平均 18.7 盛岡市 17.5 西和賀町 17.5 一戸町 17.4 宮古市 16.8 山田町 16.6 宮古市 16.5 奥州市 16.5 奥州市 16.0 一関市 15.8 陸前高田市 15.7 二戸市 15.2 岩手町 15.0	遠野市 19.6 県平均 18.7 盛岡市 17.9 一戸町 17.0 盛岡市 17.5 遠野市 16.5 宮古市 16.1 奥州市 15.7 一関市 15.4 岩手町 15.4 奥州市 15.4	金ヶ崎町 19.1 県平均 18.7 一戸町 17.9 盛岡市 17.5 花巻市 17.3 西和賀町 16.2 宮古市 16.2 宮古市 15.9 岩手町 15.7 奥州市 15.4	県平均 18.5 金ヶ崎町 18.3 軽米町 18.1 一戸町 18.1 盛岡市 17.1 西和賀町 16.0 宮古市 15.8 岩手町 15.8 一関市 15.6
10～15%	宮古市 14.1 普代村 12.6 一関市 12.3 山田町 12.0 久慈市 11.6 九戸村 11.3 藤沢町 11.2 野田村 10.6	岩手町 14.9 洋野町 14.9 一関市 14.8 川井村 14.7 二戸市 14.6 洋野町 14.6 八幡平市 14.5 宮古市 14.2 山田町 12.9 普代村 11.9 久慈市 11.4 九戸村 10.2	二戸市 14.6 宮古市 14.6 軽米町 14.6 八幡平市 13.8 洋野町 13.5 山田町 12.7 久慈市 11.4 普代村 11.3	二戸市 14.8 八幡平市 13.4 洋野町 13.2 久慈市 11.6 九戸村 9.5 野田村 8.5	軽米町 14.7 平泉町 13.8 洋野町 12.3 八幡平市 11.2 久慈市 10.7	軽米町 14.6 山田町 14.6 平泉町 13.0 八幡平市 12.7 洋野町 12.0 久慈市 11.6 九戸村 10.8	二戸市 14.7 山田町 14.6 一関市 14.1 平泉町 13.3 八幡平市 11.8 洋野町 11.2 九戸村 10.5 久慈市 10.4	山田町 14.8 花巻市 14.6 奥州市 14.0 二戸市 13.1 平泉町 11.9 洋野町 11.4 八幡平市 11.2 久慈市 10.5 九戸村 10.2
10%未満		野田村 9.6	九戸村 9.5 野田村 8.5	九戸村 9.9 野田村 9.2 普代村 9.0	普代村 9.6 野田村 9.6 九戸村 9.6	野田村 9.4 普代村 8.5	野田村 9.4 普代村 8.3	普代村 9.9 野田村 9.2

2 ごみ焼却施設の整備状況（着工ベース）

平成 25 年度末現在のごみ焼却施設数は 19 施設であり、処理能力の合計は 2,304 トン/日である（表－7、表－8）。図－7、図－8 に施設数及び処理能力の推移を、図－9 に施設規模別の内訳を示す。

表－7 ごみ焼却施設の種別施設数の推移（休止中及び新設の施設を含む。）

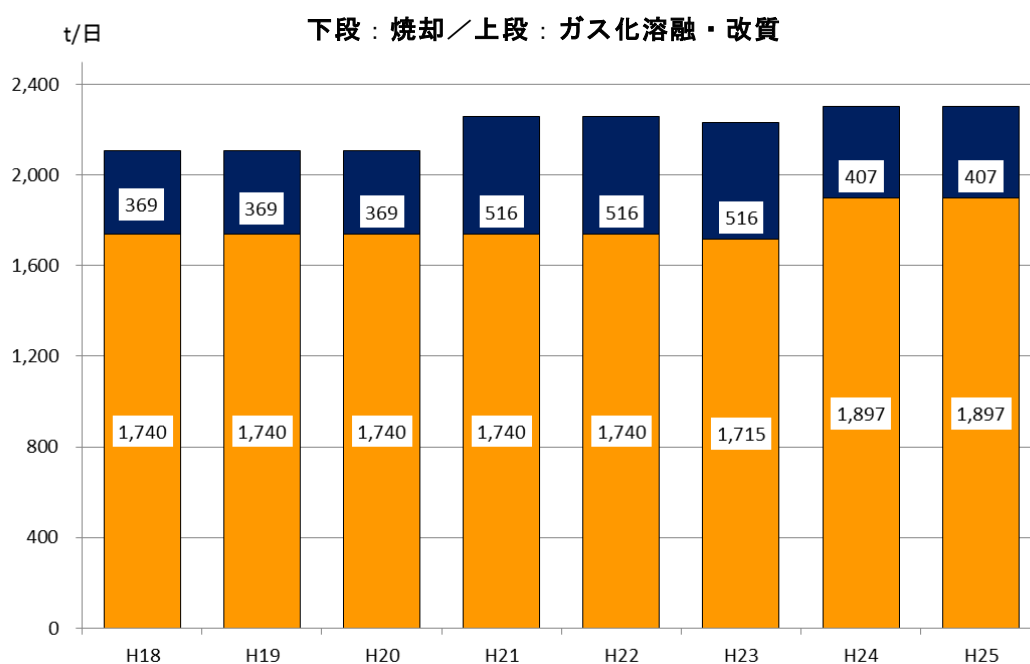
施設の種別	焼却(ガス溶融、改質、炭化、その他以外)	ガス化溶融・改質	炭化	その他	合計
H18	17	3	0	0	20
H19	17	3	0	0	20
H20	17	3	0	0	20
H21	17	4	0	0	21
H22	17	4	0	0	21
H23	15	4	0	0	19
H24	16	3	0	0	19
H25	16	3	0	0	19



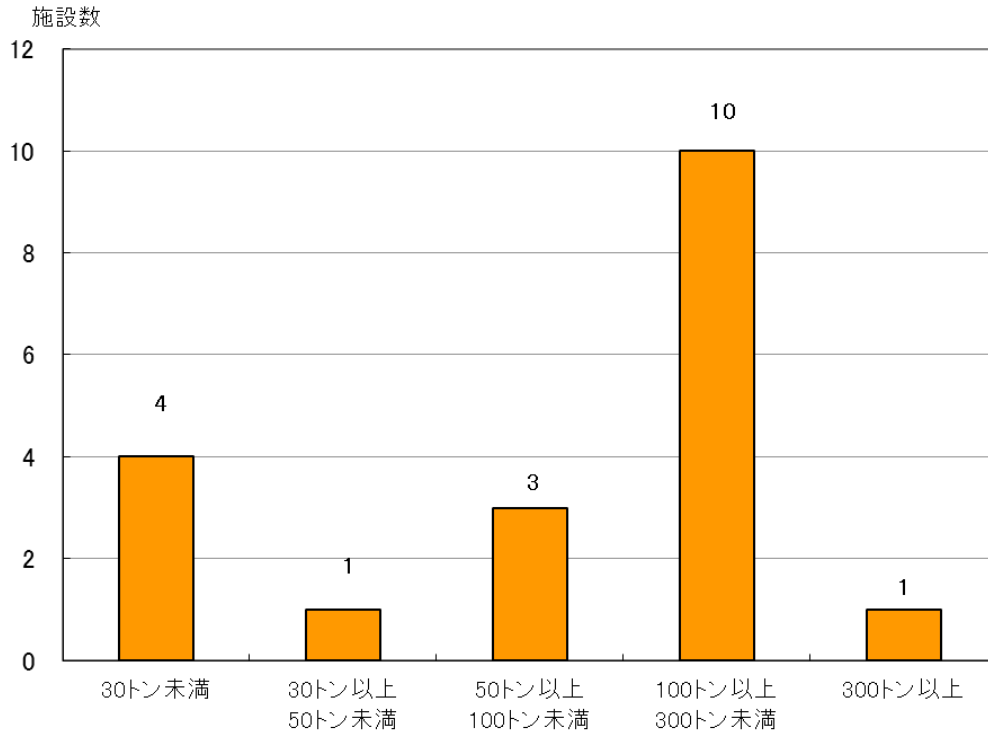
図－7 ごみ焼却施設の種別施設数の推移

表－8 ごみ焼却施設の種別別処理能力の推移（休止中及び新設の施設を含む。）

施設の種別	(処理能力:トン/日)				合計
	焼却(ガス溶融、改質、炭化、その他以外)	ガス化溶融・改質	炭化	その他	
H18	1,740	369	0	0	2,109
H19	1,740	369	0	0	2,109
H20	1,740	369	0	0	2,109
H21	1,740	516	0	0	2,256
H22	1,740	516	0	0	2,256
H23	1,715	516	0	0	2,231
H24	1,897	407	0	0	2,304
H25	1,897	407	0	0	2,304



図－8 ごみ焼却施設の種別別処理能力の推移



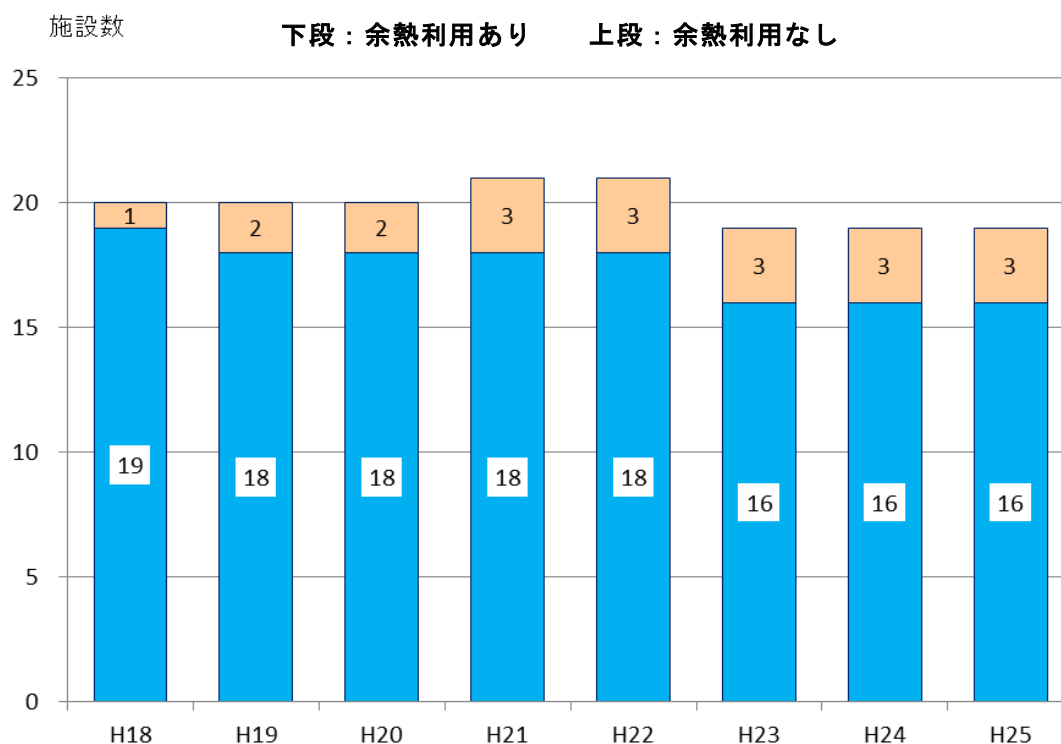
図－9 ごみ焼却施設の規模別施設数

余熱の利用については、16施設で実施されており、具体的な利用方法としては、施設内の暖房・給湯での利用や、施設外での利用として温水プール等への温水・熱供給、発電等がある（表－9、図－10）。

表－9 ごみ焼却施設の余熱利用状況

余熱利用の状況	余熱利用あり							余熱利用 無し	
	場内温水	場外温水	場内蒸気	場外蒸気	場内発電	場外発電	その他		
施設数	16 (16)	14 (15)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	2 (3)	0 (0)	3 (3)

(カッコ内は平成24年度データ)



図－１０ ごみ焼却施設の規模別施設数

発電設備を有する施設は５施設で、発電能力の合計は 11,310kW である（表－１０）。また、総発電電力量は 47,736MWh であり、約 14,408 世帯分^{（注）}の年間電力使用量に相当する。

なお、岩手中部広域行政組合の焼却施設は着工中であるため、発電能力には含めているが、総発電電力量には含まれていない。

注：電気事業連合会の推計値（一世帯当たりの電力消費量 276.1kWh/月（平成 24 年度））をもとに算出。

表－１０ ごみ焼却施設の発電の状況

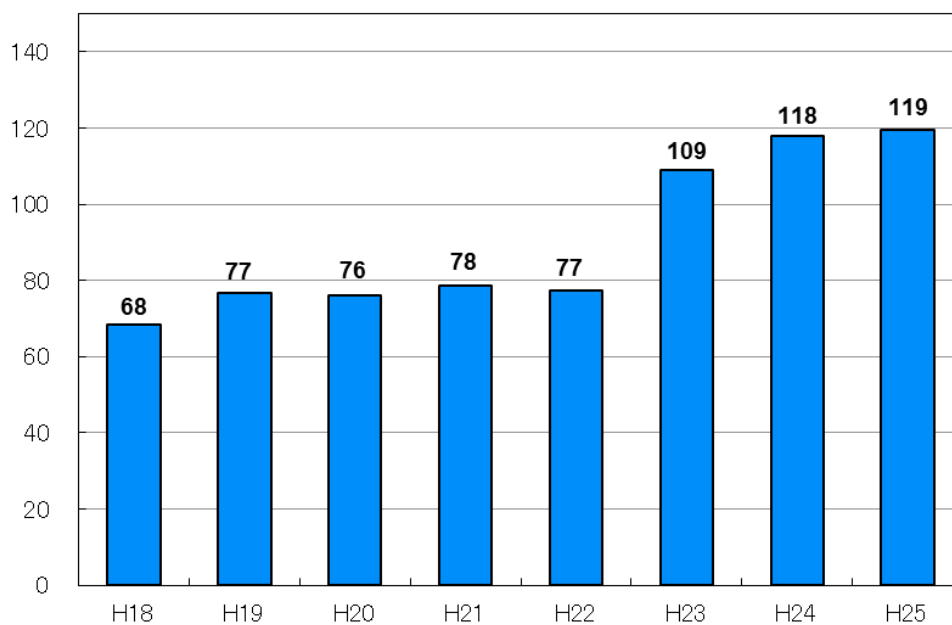
発電施設数	5(5)
総発電能力(kW)	11,310(11,310)
発電効率(平均)(%)	12.6(12.5)
総発電電力量(MWh)	47,736(48,458)

（カッコ内は平成24年度データ）

また、ごみ焼却施設（発電設備の有無を問わない）の年間処理量と年間総発電電力量から求められるごみ処理量当たりの発電電力量は、119kWh/トン（平成 24 年度：118kWh/トン）であった。（図－１１）

kWh/トン

■ ごみ処理量当たりの発電電力量(kWh/トン)



図－１１ ごみ処理量当たりの発電電力量

$$\text{ごみ処理量当たりの発電電力量 (kWh/トン)} = \frac{\text{ごみ焼却施設における年間総発電電力量 (kWh)}}{\text{ごみ焼却施設におけるごみの年間処理量 (トン)}}$$

発電設備を有する5施設のうち発電効率が10%以上の施設は3施設である。(図-12)。

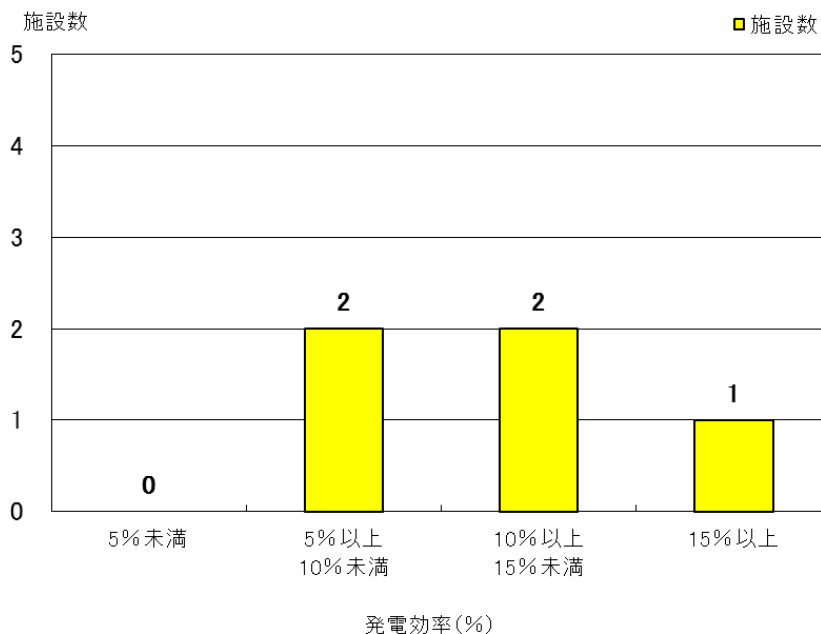


図-12 ごみ焼却施設の発電効率別の施設数

発電能力は、5施設とも発電能力が5,000kW未満であり、そのうち3施設は、1,000kW以上2,000kW未満という比較的小規模な発電設備を有する施設である。(図-13)。

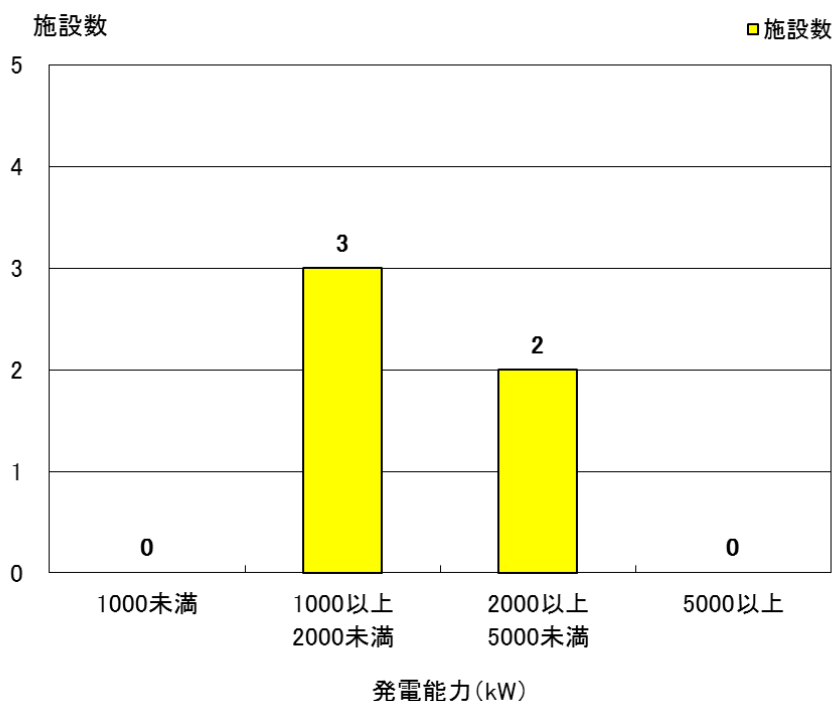


図-13 ごみ焼却施設の発電能力別の施設数

3 最終処分場の整備状況

(1) 残余年数と残余容量

平成 25 年度末現在、一般廃棄物最終処分場は 24 施設、残余容量は 844 千 m^3 である。
残余年数^(※1)は 4.4 年となった(表-11、図-14)。

※：残余年数とは、新規の最終処分場が整備されず、当該年度の最終処分量により埋立が行われた場合に、埋立処分が可能な期間(年)をいい、以下の式により算出される。

※平成 25 年度は、東日本大震災及び通常災害に係る埋立量が增大した結果、残余年数が大きく減少したものの。

$$\text{残余年数} = \frac{\text{当該年度末の残余容量}}{\text{当該年度の最終処分量} \div \text{埋立ごみ比重}} \quad (\text{埋立ごみ比重は } 0.8163 \text{ とする。})$$

表-11 一般廃棄物最終処分場の施設数と残余年数の推移

区分 年度	最終処分場数					埋立面積 (m^2)	全体容積 (m^3)	残余容量 (m^3)	残余年数 (年)	最終処分量 (m^3)	当該年度の最終処分量 /埋立ごみ比重(0.8163)	休止中又は 埋立実績なし
	山間	海面	水辺	平地	計							
H18	25	0	0	1	26	475,843	3,488,998	1,370,525	19.6	57,010	69,839.51978	0
H19	25	0	0	1	26	475,843	3,489,098	1,329,921	19.9	54,661	66,961.90126	1
H20	24	0	0	1	25	465,843	3,419,098	1,272,179	19.9	52,231	63,985.05451	1
H21	24	0	0	1	25	465,843	3,419,098	1,245,916	20.1	50,579	61,961.28874	3
H22	25	0	0	1	26	475,613	3,462,185	1,265,123	20.8	49,638	60,808.52628	3
H23	23	0	0	1	24	429,619	3,007,066	968,162	12.9	61,400	75,217.44457	3
H24	23	0	0	1	24	429,619	3,057,066	948,748	8.6	90,484	110,846.50251	3
H25	23	0	0	1	24	429,619	3,057,066	843,951	4.4	156,557	191,788.55813	1

※埋立終了施設を除き、埋立中の休止施設を含む。

※最終処分量には、災害廃棄物の埋立量を含む。

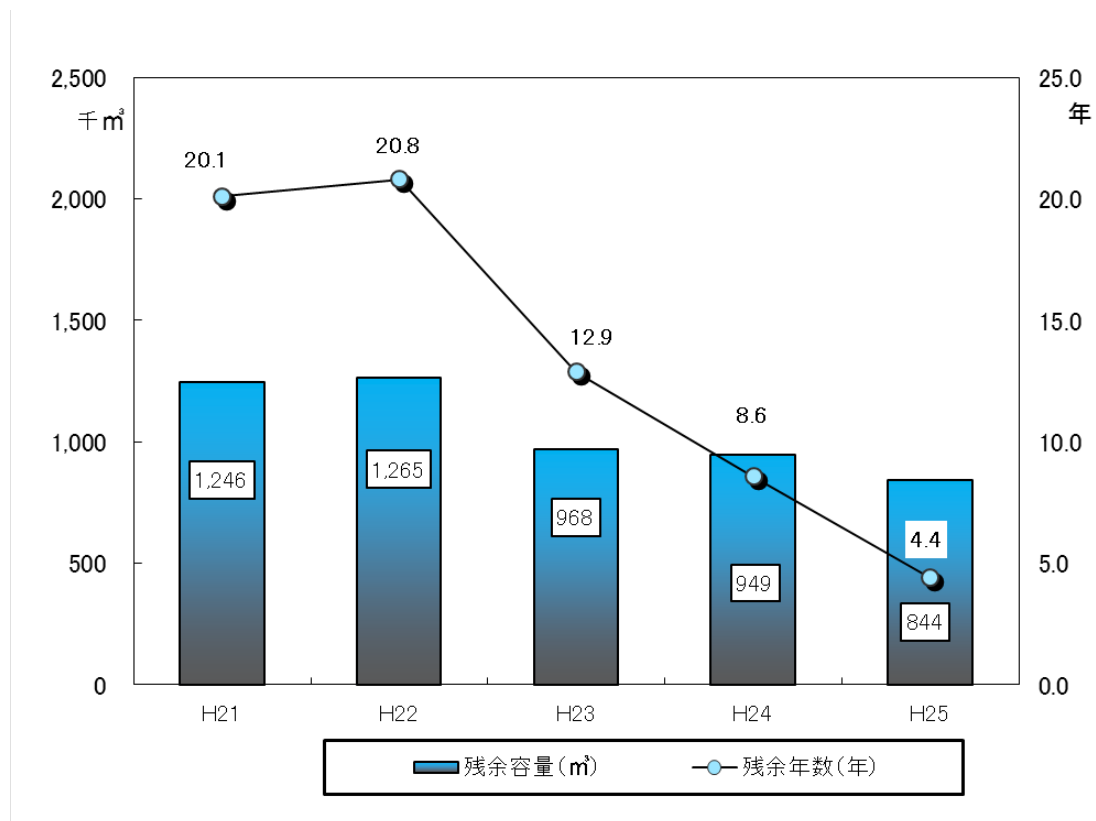


図-14 一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数の推移

(2) 最終処分を目的とした一般廃棄物の県の区域を越える広域移動の状況

平成 25 年度に、県内で発生した一般廃棄物のうち、県外の施設に最終処分を目的として搬出されたものはなかった。(ただし、東日本大震災津波により発生した災害廃棄物の処理を除く)

表-12 最終処分量の県外への移動状況

最終処分量①	県外への移動量	
	②	②/①
50,415	0	0

4 ごみ処理の経費

(1) 平成 25 年度に市町村と一部事務組合等がごみ処理に要した経費（市町村から一部事務組合等への負担金は含まない。）は、153 億 2 千万円。県民一人当たりの年間ごみ処理事業経費は、11,671 円。

(2) ごみ処理事業経費のうち、処理施設や設備の建設・改良に要した経費は 12 億 9 千万円、処理及び維持管理費に要した経費は 135 億 1 千万円。

なお、処理及び維持管理費に要した経費を一人当たりに換算すると、年間 10,295 円。

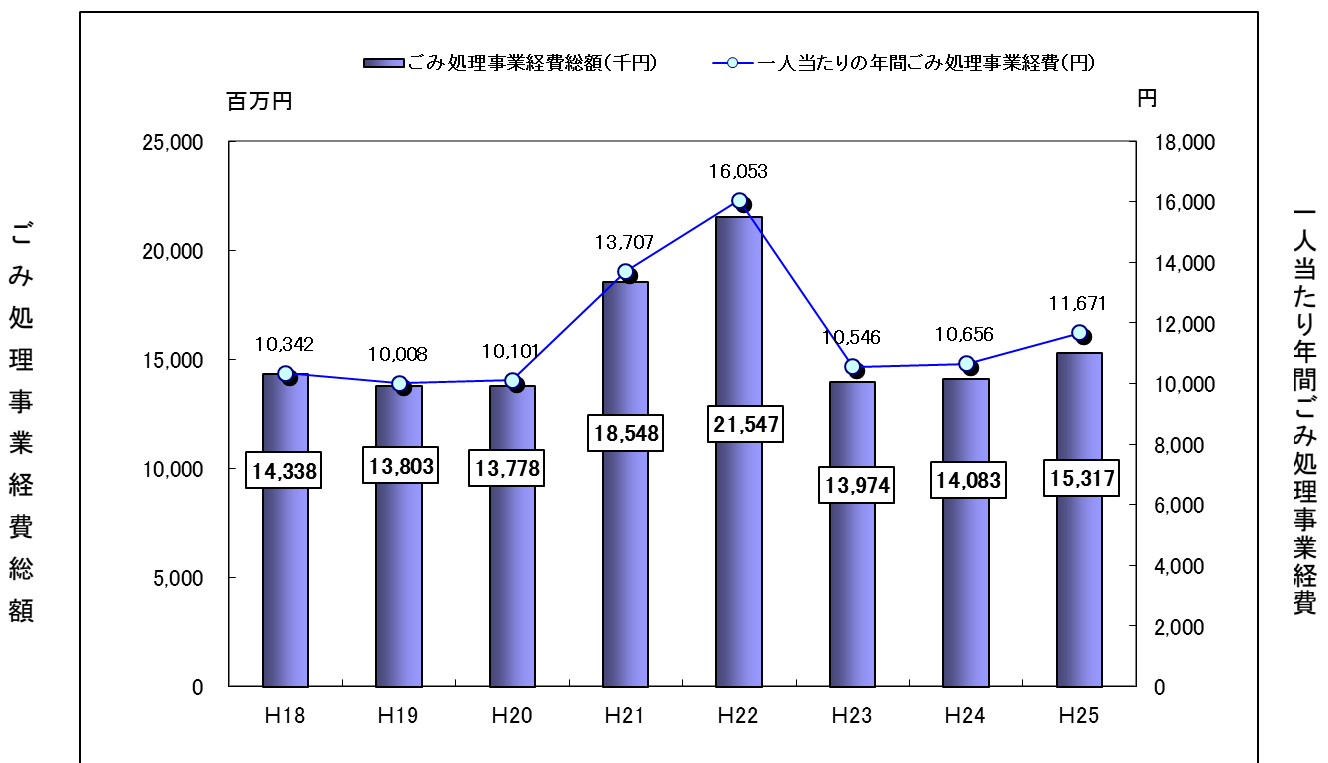


図-15 ごみ処理経費の推移

表-13 ごみ処理経費の推移

(経費：千円、前年比：%)

	H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25	
	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比
建設改良費(千円)	1,297,891	107.4	976,534	75.2	619,762	63.5	4,976,646	803.0	8,197,867	164.7	777,537	9.5	983,612	126.5	1,287,852	130.9
処理及び維持管理費(千円)	12,909,650	104.2	12,705,487	98.4	13,019,922	102.5	13,068,070	100.4	13,076,445	100.1	12,980,135	99.3	12,779,508	98.5	13,510,407	105.7
その他(千円)	129,971	47.1	121,117	93.2	137,873	113.8	503,174	365.0	272,992	54.3	216,784	79.4	319,566	147.4	518,709	162.3
合計(千円)	14,337,512	103.4	13,803,138	96.3	13,777,557	99.8	18,547,890	134.6	21,547,304	116.2	13,974,456	64.9	14,082,686	100.8	15,316,968	108.8
収集人口(人)	1,386,378	99.2	1,379,247	99.5	1,363,973	98.9	1,353,183	99.2	1,342,291	99.2	1,325,147	98.7	1,321,598	99.7	1,312,383	99.3
一人当たり処理及び維持管理経費(円)	9,312	105.1	9,212	99.4	9,546	103.6	9,657	101.2	9,742	100.9	9,795	100.5	9,670	98.7	10,295	106.5

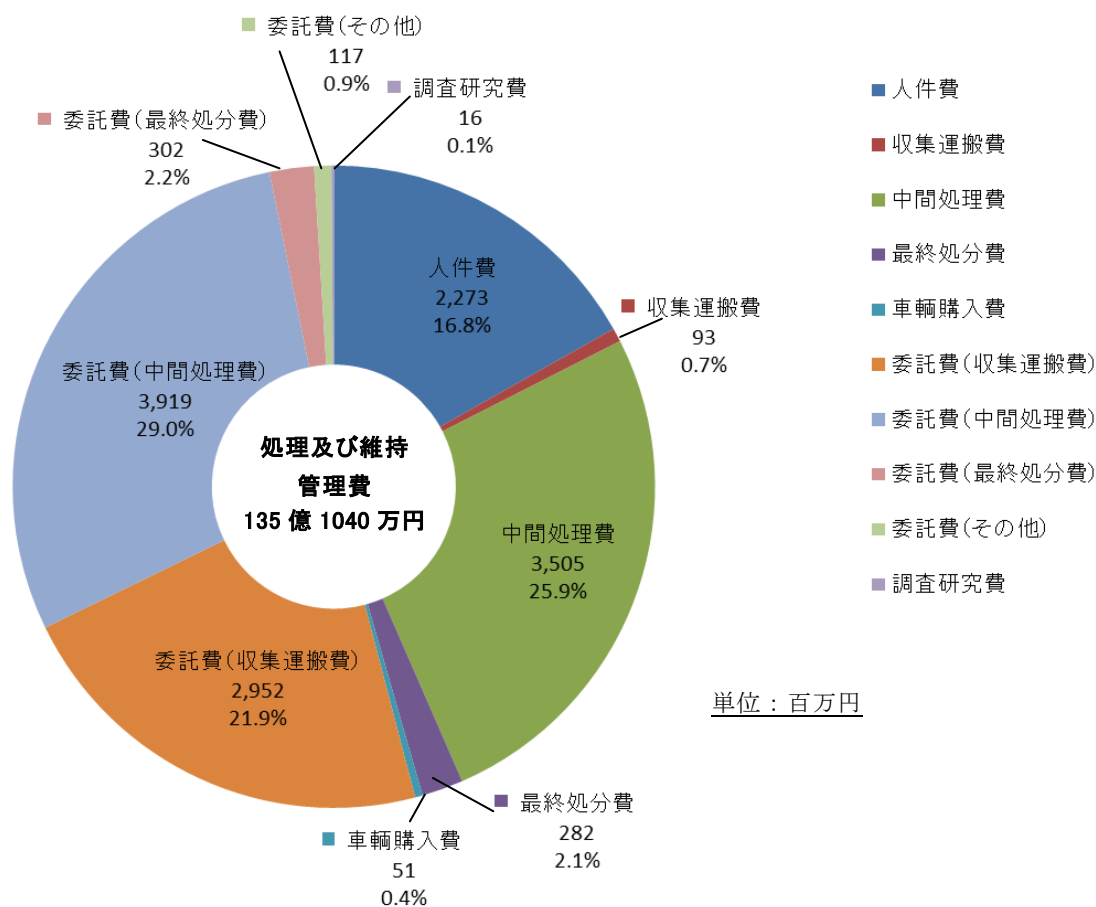
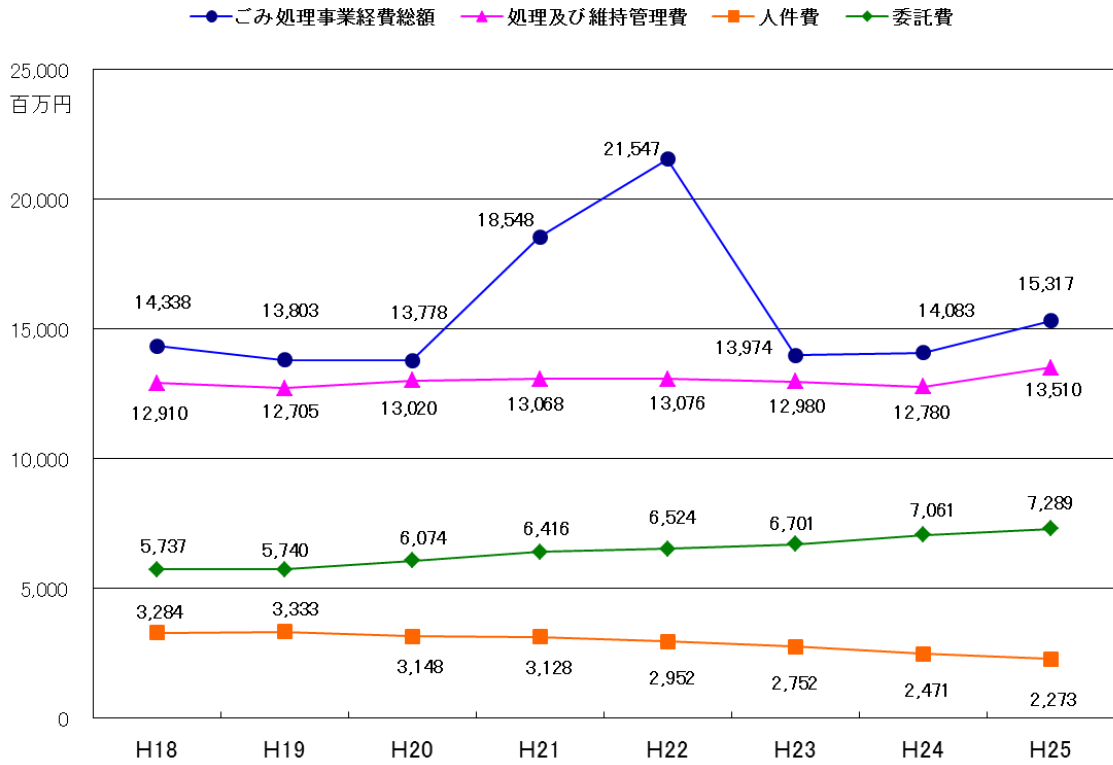


図-16 処理及び維持管理費の内訳

※円グラフの金額は四捨五入の処理を実施しているため合計値が135億1千万円となっている。

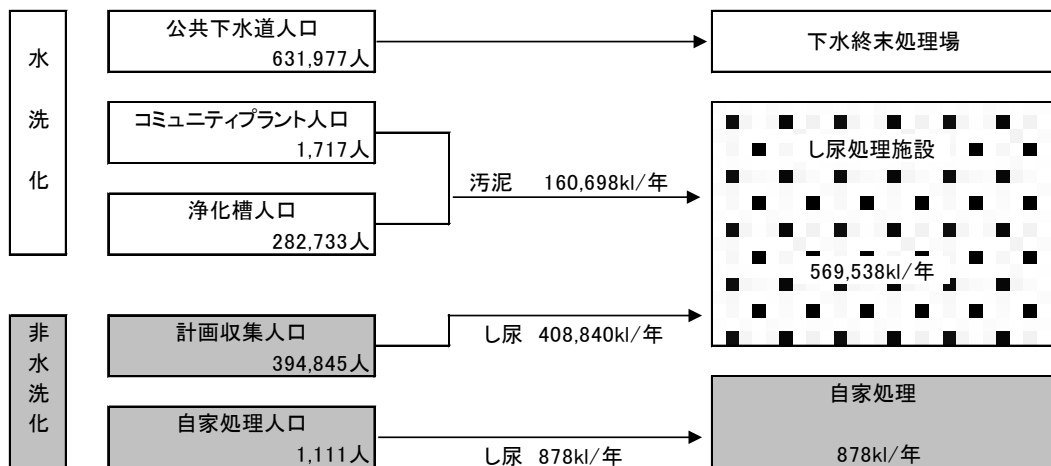


図－１７ 項目別ごみ処理事業経費の推移

し尿

1 し尿の処理状況

- (1) 平成 25 年度のし尿の処理量は、汲み取りし尿が 409 千キロリットル、浄化槽等汚泥 161 千キロリットルで、計 570 千キロリットル。

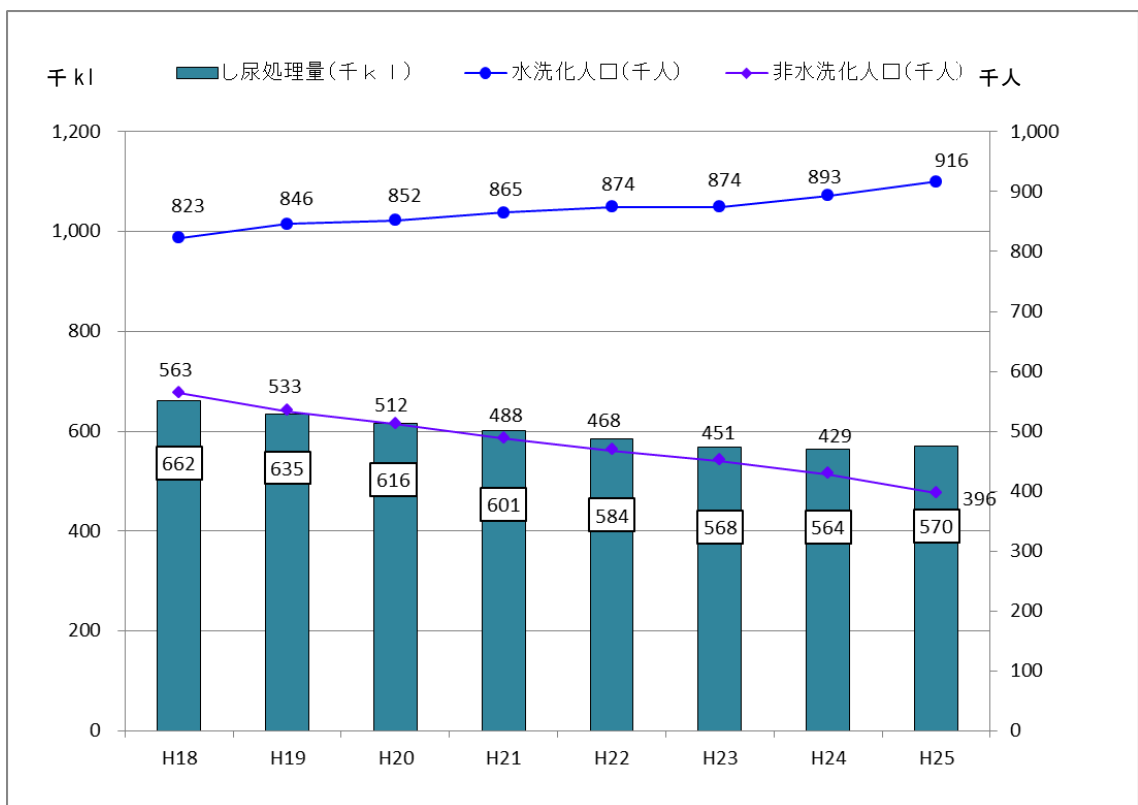


図－１８ し尿処理のフロー

(2) 浄化槽の普及により浄化槽汚泥の処理量が増加しているが、公共下水道の整備により水洗化が進んだことにより、汲み取りし尿の処理量が減少している。

表－１４ し尿処理の系統及び処理量の推移

	H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25	
	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %	人口(人)	構成 量(kl) %
人口	1,386,378	100.0	1,379,247	100.0	1,363,973	100.0	1,353,183	100.0	1,342,291	100.0	1,325,147	100.0	1,321,598	100.0	1,312,383	100.0
水洗化人口	823,173	59.4	846,055	61.3	852,090	62.5	865,188	63.9	874,439	65.1	874,337	66.0	893,014	67.6	916,427	69.8
公共下水道	560,367	40.4	573,117	41.6	587,024	43.0	598,445	44.2	610,544	45.5	608,561	45.9	619,393	46.9	631,977	48.2
コミュニティプラント	7,283	0.5	7,080	0.5	3,387	0.2	3,392	0.3	3,340	0.2	2,000	0.2	1,846	0.1	1,717	0.1
浄化槽	255,523	18.4	265,858	19.3	261,679	19.2	263,351	19.5	260,555	19.4	263,776	19.9	271,775	20.6	282,733	21.5
(合併処理浄化槽)	200,843	14.5	201,586	14.6	199,384	14.6	218,391	16.1	235,738	17.6	242,052	18.3	254,740	19.3	237,016	18.1
(単独処理浄化槽)	54,680	3.9	64,272	4.7	62,295	4.6	44,960	3.3	24,817	1.8	21,724	1.6	17,035	1.3	45,717	3.5
非水洗化人口	563,205	40.6	533,192	38.7	511,883	37.5	487,995	36.1	467,852	34.9	450,810	34.0	428,584	32.4	395,956	30.2
計画収集人口	556,846	40.2	528,948	38.4	508,925	37.3	485,425	35.9	465,605	34.7	448,939	33.9	427,240	32.3	394,845	30.1
自家処理人口	6,359	0.5	4,244	0.3	2,958	0.2	2,570	0.2	2,247	0.2	1,871	0.1	1,344	0.1	1,111	0.1
し尿処理量	661,559	100.0	635,006	100.0	616,407	100.0	601,013	100.0	583,672	100.0	568,200	100.0	563,973	100.0	570,416	100.0
し尿処理施設	657,662	99.4	632,291	99.6	614,506	99.7	599,299	99.7	582,217	99.8	548,015	96.4	562,977	99.8	569,538	99.8
汲み取りし尿	532,739	80.5	506,002	79.7	481,317	78.1	467,220	77.7	449,536	77.0	414,788	73.0	409,531	72.6	408,840	71.7
浄化槽汚泥	124,923	18.9	126,289	20.2	133,189	21.6	132,079	22.0	132,681	22.7	133,227	23.4	153,446	27.2	160,698	28.2
下水道投入	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	469	0.1	18,992	3.3	0	0.0	0	0.0
自家処理	3,897	0.6	2,715	0.4	1,901	0.3	1,714	0.3	1,455	0.2	1,193	0.2	996	0.2	878	0.2



図－１９ し尿処理量と水洗化人口・非水洗化人口の推移

- (3) し尿の処理は、複数の市町村で構成された一部事務組合又は広域連合で実施。
各組合等の処理量の推移は次のとおり。

表－15 し尿処理施設ごとの処理量

	(単位:kl/年度)							
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
久慈広域連合	43,758	43,113	42,721	42,844	42,195	41,261	41,375	40,309
二戸地区広域行政事務組合	37,013	36,278	35,951	35,592	33,799	33,736	33,425	33,362
盛岡北部行政事務組合	39,203	38,858	47,233	37,464	36,802	35,515	34,886	33,924
盛岡地区衛生処理組合	49,592	46,489	34,666	43,587	42,168	40,674	40,161	40,436
紫波・稗貫衛生処理組合	47,682	44,851	43,230	41,155	40,049	38,980	36,997	38,475
北上地区広域行政組合	90,260	86,280	82,979	77,829	74,983	75,850	69,836	70,852
遠野市	21,592	21,077	20,183	20,028	19,128	19,903	20,130	19,866
奥州金ヶ崎行政事務組合	84,902	82,849	80,711	78,722	77,032	87,637	76,280	75,711
一関地区広域行政組合	100,471	95,774	93,179	91,258	88,949	93,279	88,025	88,505
宮古地区広域行政組合	58,557	56,170	53,019	51,776	51,263	50,380	48,906	48,906
気仙広域連合	52,343	50,571	50,685	49,476	46,193	3,954	47,291	49,002
釜石大槌地区行政事務組合	32,289	29,981	29,949	29,567	28,223	26,757	29,133	28,947
合計	657,662	632,291	614,506	599,298	580,784	547,926	566,445	568,295

2 し尿の処理経費

- (1) 平成25年度に市町村と一部事務組合等が、し尿処理に要した経費（市町村から一部事務組合への負担金は含まない。）は約42億7千万円。このうち、処理施設や設備の建設・改良に要した経費は約1億6千万円、処理及び維持管理費に要した経費は約40億2千万円。

なお、処理及び維持管理費に要した経費を県民一人当たり換算すると、年間10,169円。

表－16 し尿の処理経費の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
建設改良費（千円）	2,175,656	29,400	13,751	36,307	6,961	281,009	101,000	160,325
処理及び維持管理費（千円）	4,309,872	4,267,375	4,054,494	3,963,513	3,976,943	3,825,971	3,943,918	4,015,172
その他（千円）	65,400	133,363	40,365	101,223	178,721	96,954	109,338	98,311
合計（千円）	6,550,928	4,430,138	4,108,610	4,101,043	4,162,625	4,203,934	4,154,256	4,273,808
計画収集人口（人）	556,846	528,948	508,925	485,425	465,605	448,939	427,240	394,845
一人当たり処理及び維持管理費（円）	7,740	8,068	7,967	8,165	8,541	8,522	9,231	10,169